

JICA給水改善プロジェクトの視察

2018年3月8日、柳大使は、草の根無償贈与契約署名のためにタフィーレ県を訪問した機会に、小林JICAヨルダン事務所長及び水専門家と共に、ヨルダン水道庁タフィーレ事務所を訪問し、水道庁関係者から平成23年度無償資金協力案件「南部地域給水改善計画」による送配水システムの再構築（配水池の建設及び配水管網更新、配水モニタリングシステムの設置、ポンプ送水の適正化等）につき説明を受け、その後、本件により建設された配水池及びポンプ場を視察しました。

ヨルダン水道庁タフィーレ事務所長からは、本プロジェクトによって、送配水システムが再構築されたことにより、地域住民5万5千人に対する送水量が大幅に増加した他、水質及び配水におけるエネルギー効率の改善にも繋がっており、日本の支援に心から感謝しており、水分野での日本からの更なる支援を期待するとの発言もありました。

日本の支援により建設された配水池



日本の支援により改修されたポンプ場

